

青森県 春季高校野球

第2日

春季青森県高校野球選手権第2日は20日、八戸市の長根、東と六戸町ヌイブルの3球場で2回戦8試合を行った。

▽2回戦
工大11-2木造
(7回コールド)
弘前東7-5大湊
青森山田10-1三沢商
(7回コールド)
青森東7-1五所商
八学光星9-1弘前工
(7回コールド)
三本木5-4五所川原
弘学聖愛11-1八戸工
(5回コールド)
八戸西13-9青森南

▽準々決勝
(八戸ヌイブル)
工大1弘前東(10-00)
青森山田青森東(12-30)
(八戸長根)
八学光星三本木(10-00)
弘学聖愛八戸西(12-30)

【試合速報】
QRコード

3日(土)はメインと長根での2球場で準々決勝を実施する。

【弘前工-八学光星】5回光星1死、福山優希がソロ本塁打を放ち、ダイヤモンドを回るニメイブル



光星快勝コールド

弘前工0-1000000
八学光星330010X
(7回コールド)
弘前工 吉成、須藤、藤原、遠坂
福山 齊藤
弘前工 福山、齊藤
二塁打 齊藤、花房
△ポーク 岡部、弘前工
△試合時間 1時間50分
△球審 井上 塁審 李沢

藤谷、松浦
【評】光星は初回2死二塁から、小池の左前打で先制すると、続く馬場も左前打を放ち加勢。二回以降も着実に加点し、五回には福山が左越え本塁打で駄目を押しした。

弘前工は投手4人が6死球、ポークと安定感を欠き、流れをつかめなかった。

【評】光星は初回2死二塁から、小池の左前打で先制すると、続く馬場も左前打を放ち加勢。二回以降も着実に加点し、五回には福山が左越え本塁打で駄目を押しした。

弘前工は投手4人が6死球、ポークと安定感を欠き、流れをつかめなかった。

た。ただ1失点の内容に「序盤、球が高めに浮いた。安定した投球をしなれば」と課題も口にした。打者としては、安打2打点に盗塁も決める活躍。五回に本塁打を放ち、「高校では練習試合を含めて初めて。気持ち良かった」と晴れやかに話した。

○：光星は、仲井宗基監督が「経験を積んでほしい」と期待を込めて送り出した青森高1の年生福山優希が投打で存在感を示した。

弘前工・齊藤竜馬主将(4番手で登板)「投手陣は変化球の制球が甘く、四死球で隙をつくってしまった。自分を高め、夏までに制球力を高めなければ」